

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法で減価償却を実施している。

(2) 資産の範囲について

資産の範囲には、現金預金、退職給付引当資産、什器備品のほか、仮払金を含めている。

(3) 負債の範囲について

負債の範囲には、退職給付引当金、リース債務のほか、未払金、預り金を含めている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金

事務局職員の退職給付に備えるため、退職給付引当金を計上している。

### 2. 基本財産及び特定資産の明細、増減額及びその残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	—	—	—	—
小 計	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	7,701,496	691,065	2,432,000	5,960,561
小 計	7,701,496	691,065	2,432,000	5,960,561
合 計	7,701,496	691,065	2,432,000	5,960,561

### 3. 次期繰越収支差額の内容は以下のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金・普通預金	1,891,368	5,880,745
仮 払 金	465,830	339,021
流動資産合計	2,357,198	6,219,766
未 払 金	141,152	167,795
前 受 金	4,000	0
預 り 金	150,982	178,044
リ ー ス 債 務	0	754,966
流動負債合計	296,134	1,100,805
次期繰越収支差額	2,061,064	5,118,961

### 4. 固定資産の取得価格・減価償却累計額及び当期末残高は以下のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	1,141,784	254,520	887,264
合 計	1,141,784	254,520	887,264

### 5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は以下のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	13,144,700
受取全法連助成金振替額	13,144,700
合 計	13,144,700